

公益財団法人 牧誠財団

団体情報

代表者 (代表理事) 牧 寛之

住 所 〒468-0056 愛知県名古屋市天白区島田四丁目 1701 番の 2

WEB サイト URL <http://melco-foundation.jp/>

日本的経営の「心」を世界へ

キーワードは「心」

－財団設立の経緯－

当財団は、メルコグループ創業 30 周年を記念する社会貢献事業として、メルコグループ創業者である牧誠氏の私財を公益に供する形で、2007 年 3 月に「メルコ学術振興財団」として設立されました。

その後、2011 年 4 月に公益財団法人に移行し、日本的経営を世界に広めるという目的の下、経営学の学問分野の一つである管理会計学に焦点をあて、とりわけ世界に通じる管理会計理論の構築を目指す研究者支援を標榜し「日本の管理会計を世界へ」という行動指針により活動を進めてきました。

牧誠氏は、1975 年にメルコを創業し 2018 年に身罷られるまで、「お客様を喜ばせたい、どうやったらもっとお客様の喜ぶ製品が作れるか」ということを一心に追求して、人生の全てを社業にささげ、その実現に尽力しました。牧誠氏は、この想いの実現を続ける中で、「お客様を、自分ではない人を喜ばせたい」というのが、日本的経営に特有な「心」であると考えようになっていました。

一方で、この頃の日本の多くの公益財団では、科学技術振興、芸術振興、地域振興を主題としており、経営を主眼としている団体は殆どありませんでした。日本的経営の「心」が、所与のものであると考えたからか、その必要性を実業界が感じてこなかったのかもしれませんが。



財団設立者 牧誠氏

これらをふまえ、牧誠氏は、日本的経営というわれわれの「心」をより深く研究してくださる研究者の皆様を支援するために、当財団の立ち上げを決断しました。

助成事業を中心に

－これまで－

当財団では、研究助成と研究成果普及事業という2大事業を行っています。研究助成においては、研究者に対して、第一に日本企業における管理会計実務の定式化または理論化に対する研究ならびにそれらを含む周辺領域に関する研究助成、第二に海外研究者の招聘や海外留学、短期海外出張等に対する国際研究交流助成、第三に研究成果に対する出版助成を行っています。とくに、大学院生に向けて、独自のフィールドワーク実践や、海外の先進的な研究に触れる機会を増やすことを重視しています。助成累計額は2019年度までの実績で研究助成177件、国際研究交流助成92件、出版助成12件、合計281件、助成金額は総額2億895万円に達しました。



研究助成金贈呈式の様子

研究成果普及事業においては、第一に機関誌『メルコ管理会計研究』を定期的に発行し、これまでに19巻発行しました。この掲載論文全てが、インターネットを通じて無料で閲覧が可能です。第二に当財団ホームページにおいて国内外の学会等で英語報告された内容を論文にまとめたものをディスカッションペーパー

「Melco Management Accounting Research Discussion Paper Series」

として2015年より公開しており、これまでに34本掲載しております。第三に内外の著名な研究者、実務家を招聘して管理会計に関する講演会やセミナーを定期的で開催し、セミナーはこれまで84回、国際シンポジウムは2回開催してきました。



10周年記念国際シンポジウム

第四に管理会計に関する文献の収集を行っております。蔵書は7,800冊を超え、皆様に無料で貸し出しを行っています。

さらなる事業の拡大にむけて

－これから－

当財団の設立から10年間は、まず財団の存在を確固とするために管理会計学を中心に据えて活動してきました。その後は、より領域を広げて、“日本的経営”という視点で研究者の方々を支援しています。昨年度からは、近年の企業が抱える課題である、コーポレートガバナンスに焦点を当て、年額2,000万円を5年間助成する、大型の助成事業を開始しました。また、飛躍的に発展する潜在性を有する、探索的性質の強い、あるいは芽生え期の研究に対する助成として、挑戦的萌芽研究助成事業も開始しました。さらに、わが国の研究者がその研究を世界に発信する支援として、海外研究者を招聘し、海外ジャーナル投稿や最先端

の研究方法のワークショップも開催しています。加えて、機関誌『メルコ管理会計研究』において、その査読制度の長所を活かしつつ、研究成果の迅速な公表を望む大学院生に伝えるべく、投稿受付から査読を経て原則3ヶ月以内に掲載の可否が決定される、院生論文の受付を開始しました。



機関誌とディスカッションペーパー

一方で、コロナ禍における研究は、政府の緊急事態宣言や自粛要請などによって、実証研究・在外研究の停滞、図書館や大学等研究機関施設の閉鎖など、苦難の連続であることも事実です。これらをふまえ、2020年からは、電子データでの助成応募、セミナー・ワークショップのリモート開催、宅配便を利用した蔵書の無償貸出などをおこない、微力ながら研究者の方々のニューノーマルに向けた対応に努めております。

当財団は2021年1月に、当財団設立者である牧誠氏の想いを継承し、さらなる飛躍を目指して、その名称を「メルコ学術振興財団」から「牧誠財団」に変更いたしました。当財団は、日本的経営を世界に発信するという理念の下、さらなる社会貢献を進めるべく活動をしてまいります。何卒ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(文章 公益財団法人牧誠財団 事務局)

(2021.01)